

平成 29 年度基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター業務報告

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望	
包括的支援事業	総合相談支援業務	平成 29 年度においても継続実施(熱中症予防シートを活用した実態把握の実施)	<基幹型>主に、入院・入所等の方、関係課との連携対応が必要な場合の相談支援 <在支・包括>主に、在宅の方の相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 相談実人数、相談支援業務延べ数、相談者の区分、相談内容、訪問による相談結果については、資料 9 - 2 の 2~5 ページ参照。 熱中症予防シートを活用した実態把握については以下のとおり。 <内容> ひとり暮らし・高齢者のみ世帯を中心に熱中症予防シートを配布することにより、熱中症への注意を喚起し、室内での熱中症を予防する。あわせて、地域包括支援センター職員等が高齢者の実態把握訪問を行う際の手段として活用し、円滑な実態把握につなげる。 <配布依頼先> 民生児童委員 555 枚、独居高齢者訪問調査 200 枚、いきいきサロン(18 か所)300 枚、テンミリオンハウス 400 枚、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター650 枚、その他会議等 166 枚 計 2,271 枚 ※配布結果についてアンケートを実施 <配布期間> 平成 29 年 6 月 1 日~9 月 30 日		
	権利擁護業務	介護サービス事業者及びケアマネジャーに対する虐待に関する研修の実施【継続】	年 1 回	<基幹型>障害者福祉課と共催で開催 <在支・包括>基幹型と連携して研修内容を検討	高齢者虐待対応研修会 平成 30 年 3 月 13 日(火) 午後 6 時 30 分~午後 8 時 30 分 市役所 811 会議室、 「相談・訪問・通所・入所系・行政等の機関がグループワークを通して課題解決に向けた役割を学ぶ」(講師 公益社団法人あい権利擁護支援ネット 川端 伸子氏)、参加者 56 名	
		高齢者虐待防止マニュアルによる関係者への周知	平成 29 年度中	<基幹型>マニュアルによる周知 <在支・包括>基幹型と連携した周知	平成 29 年 7 月 31 日に在宅介護・地域包括支援センター職員を対象とした研修会を実施。 平成 30 年 3 月 13 日実施の高齢者虐待対応研修会にて周知を行った。	
		高齢者及び障害者虐待防止連絡会議(平成 24 年度から障害者福祉課と共管)の実施【継続】	年 2 回	<基幹型>障害者福祉課と共催で開催 <在支・包括>会議に出席	【参加団体】武蔵野警察署、多摩府中保健所、地域活動支援センター地域生活支援センターびーと、地域活動支援センターライフサポート MEW、地域自立支援協議会権利擁護部会、武蔵野市福祉公社権利擁護センター、在宅介護支援センター、武蔵野市障害者福祉センター、地域支援課、生活福祉課、健康課、高齢者支援課、障害者福祉課、子ども家庭支援センター、 第 1 回 平成 29 年 7 月 19 日(水) 市役所 413 会議室 第 2 回 平成 30 年 1 月 17 日(水) 市役所 412 会議室	
		見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会の実施【継続】(孤立防止に加え、消費者被害防止、防犯対策を目的とした庁内及び関係機関の連携強化)	年 2 回	<基幹型>関係課と連携して開催 <在支・包括>会議に出席	【参加団体】東京都住宅供給公社、都市再生機構、東京都宅地建物取引業協会武蔵野中央支部、多摩新聞販売同業組合武蔵野支部、東京ガス株式会社西部支店、東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社、武蔵野市シルバー人材センター、武蔵野郵便局及び市内郵便局代表、水道部、武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会、弁当宅配業者、ヤマト運輸株式会社、生活協同組合コープみらい東久留米センター、生活協同組合パルスシステム東京、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、武蔵野市商店会連合会、第一生命株式会社、明治安田生命保険相互会社、東都生活協同組合、東京ハイヤー・タクシー協会武三支部、武蔵野警察署、武蔵野消防署、武蔵野市医師会、東京都武蔵野市歯科医師会、武蔵野市薬剤師会、武蔵野市柔道整復師会、武蔵	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
				野市民生児童委員協議会、武蔵野市民社会福祉協議会、在宅介護・地域包括支援センター、健康福祉部各課、防災安全部安全対策課、子ども家庭部子ども家庭支援センター、都市整備部住宅対策課、市民部生活経済課 ・第 1 回：平成 29 年 7 月 25 日（火）午前 10 時～11 時 30 分 市役所 802 会議室 関係機関からの通報対応事例について、最近の安全対策についての取り組みについて、振り込め詐欺等の防犯対策について、消費者被害について、生活困窮者自立支援相談受付状況等について、見守り支援についての武蔵野市の取り組みについて ・第 2 回：平成 30 年 1 月 31 日（水）午前 10 時～11 時 30 分 市役所 412 会議室 関係機関からの通報対応事例について、武蔵野市地域包括支援センター、最近の安全対策についての取り組みについて、振り込め詐欺等の防犯対策について、消費者被害について、生活困窮者自立支援相談受付状況等について、見守り支援についての武蔵野市の取り組みについて	
介護予防ケアマネジメント業務	介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメントの実施【継続】	平成 29 年度においても継続実施	<基幹型>・サービス担当者会議への出席等によりケアの質の担保を図る・武蔵野市独自様式の評価	ケアプラン作成件数等については資料 9-2 の 9 ページを参照	
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	ケアプラン指導研修の実施【継続】	年 4 回	<基幹型>研修委員会の運営 <在支・包括>委員として出席	第 1 回平成 29 年 6 月 22 日（木）7 事例 第 2 回平成 29 年 8 月 9 日（水）4 事例 第 3 回平成 29 年 9 月 5 日（火）16 事例 第 4 回平成 29 年 10 月 3 日（火）ケアプラン指導フォローアップ研修 参加者 ケアマネジャー 16 名 計画相談員 5 名	
	主任ケアマネジャー研修の実施【継続】	年 1 回	<基幹型>研修企画・開催 <在支・包括>研修に参加	主任介護支援専門員研修を開催 目的：居宅介護支援事業所に所属する主任介護支援専門員の役割として以下のことを行えるようにする ①個別事例検討会のスーパーバイズ ②個別地域ケア会議への参画 ③エリア別地域ケア会議のファシリテーター 日時：平成 29 年 12 月 5 日（火）午後 6 時 30 分～午後 9 時 00 分 場所：市役所 811 会議室 講師：日本ケアマネジメント学会 相田里香氏 参加者：45 名	
	主任ケアマネジャーの活用【新規】 （地区別ケース検討会における事例検討のスーパーバイズを行う）	平成 29 年度中	<基幹型>地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括>地区別ケース検討会における事例検討のスーパーバイズを居宅介護支援事業所と連携して実施	ゆとりえ（東部第 1） ①平成 29 年 6 月 15 日（木）事例検討『認知症見守り支援事業利用ケース』 ②平成 29 年 7 月 20 日（木）事例検討『こだわりの数だけ悩んだケース』 ③平成 29 年 9 月 21 日（木）事例検討『一人暮らしの高齢者～本人の望む生活 それと家族の思いは？～』 ④平成 29 年 12 月 21 日（木）事例検討『精神疾患がある方の自立支援と在宅生活の限界を考	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
				<p>える』</p> <p>⑤平成 30 年 2 月 15 日（木）事例検討『適切な医療につながらない、本人、家族の思いにどう向き合うか』</p> <p>吉祥寺本町（東部第 2）</p> <p>①平成 29 年 6 月 21 日（水）事例検討『理髪店を継続する認知症の方の生きがいと家族の不安』</p> <p>②平成 29 年 7 月 19 日（水）事例検討『どうしたらいいの？徘徊する 92 歳男性の対応』</p> <p>③平成 29 年 10 月 18 日（水）事例検討『なおさん（仮名）の残された時間の過ごし方』</p> <p>④平成 29 年 12 月 13 日（水）事例検討『権利擁護につながっていたら…』</p> <p>⑤平成 30 年 1 月 17 日（水）事例検討『在宅を困難にするのは周りの人？認知症の方の強みを生かした支援をするには』</p> <p>高齢者総合センター（中央第 1）</p> <p>①平成 29 年 6 月 16 日（金）事例検討『本人の希望する一人暮らしを続けるために』</p> <p>②平成 29 年 7 月 21 日（金）事例検討『妻他界後一人暮らしになった 95 歳男性をどのように支えていくか』</p> <p>③平成 29 年 10 月 20 日（水）事例検討『必要な支援に結びつかない身寄りのない男性へのアプローチ』</p> <p>④平成 29 年 11 月 17 日（金）事例検討『いろいろなことを諦めている利用者にケアマネとして出来る支援について』</p> <p>⑤平成 30 年 1 月 19 日（金）事例検討『利用者を取り巻く近隣住民との関わり方』</p> <p>吉祥寺ナーシングホーム（中央第 2）</p> <p>①平成 29 年 5 月 11 日（木）事例検討『金銭管理が困難な認知症高齢者の支援』</p> <p>②平成 29 年 6 月 8 日（木）事例検討『認知症で不安が強い高齢者へどう支援すれば穏やかな生活が送れるか』</p> <p>③平成 29 年 8 月 30 日（水）事例検討『K さんとその家族が安心して地域での生活を続けられるための支援体制を考える』</p> <p>④平成 29 年 9 月 14 日（木）事例検討『徘徊と訪問販売契約を繰り返す一人暮らしの認知症高齢者への支援』</p> <p>⑤平成 29 年 11 月 9 日（木）事例検討『家族の認知症に対する理解が得られず必要な支援につながらない独居高齢者』</p> <p>⑥平成 29 年 12 月 14 日（木）事例検討『サービスは充実しているが本人の満足が見えてこないケース』</p> <p>桜堤ケアハウス（西部第 1）</p> <p>①平成 29 年 6 月 20 日（火）事例検討『認知独居で区分支給限度額を超えてしまうケアプランについて』</p> <p>②平成 29 年 7 月 18 日（火）事例検討『高次脳機能障害があり身寄りのない独居男性の退院後の支援について』</p> <p>③平成 29 年 10 月 24 日（火）事例検討『過去を忘れられない妻と今を穏やかに暮らしたい E さん』</p> <p>④平成 29 年 11 月 21 日（火）事例検討『認知症でお出かけ好きな本人と献身的支える妻が安</p>	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
				<p>心して暮らせるためには』</p> <p>⑤平成 29 年 12 月 15 日（金）事例検討『自立度の高いアルコール依存症の方の支援について』 武蔵野赤十字（西部第 2）</p> <p>①平成 29 年 5 月 18 日（木）事例検討『認知症の方が訴える痛みの意味』</p> <p>②平成 29 年 7 月 20 日（木）事例検討『本人の意向と医療の間でゆれる支援者たち』</p> <p>③平成 29 年 9 月 21 日（木）事例検討『精神疾患のご夫婦にケアマネとしての向き合い方、寄り添い方』</p> <p>④平成 29 年 11 月 16 日（木）事例検討『徘徊する利用者の入所するまでの生活をどう支えていくか』</p> <p>⑤平成 30 年 1 月 18 日（木）事例検討『デイに行きたくないって言われたら』</p>	
地域ケア会議推進事業【制度改正による充実分】	個別地域ケア会議の開催【新規】	在宅介護・地域包括支援センター毎に年 2 回	〈基幹型〉開催方法の検討・整理 〈在支・包括〉会議開催	資料 9 - 2 13~15 ページ参照	
	エリア別地域ケア会議の開催【継続】	在宅介護・地域包括支援センター毎に年 1 回	〈基幹型〉開催支援 〈在支・包括〉会議開催	資料 9 - 2 16 ページ参照	
	全市的地域ケア会議の開催【継続】	年 1 回	〈基幹型〉 会議内容について関係課と調整等 〈在支・包括〉 会議に出席	<p>武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会 多職種連携推進・研修部会 合同研修会を開催 日時：平成 29 年 9 月 22 日（金）18 時 30 分～20 時 30 分 場所：市役所 811 会議室 内容：摂食嚥下機能障害のグループワーク 参加者：各事業所連絡会より推薦された者 計 78 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・接触嚥下機能障害を取り上げることによって、今まで協議会へ参加する機会が「少なかった歯科医師、歯科衛生士、OT、PT、ST 管理栄養士、介護施設等との連携を推進し、多職種連携・研修部会連携のすそ野を広げることを目的とした。 ・連携推進のためには、定期的、継続的な開催が必要であるが、職種によって周知の工夫が必要である。
在宅医療・介護連携推進事業【制度改正による充実分】	「脳卒中地域連携パス」を多職種連携のツールとして活用する方策の検討【新規】	平成 29 年度継続	〈基幹型〉地域支援課と連携して方策を検討 〈在介・包括〉基幹型と連携して方策を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種がチームとして支援するための連携ツールとして「脳卒中地域連携パス」の検証を行った。 ・在宅医療・介護連携推進協議会の入退院時支援部会により協議を行った。 ・検証にあたっては、27 年、28 年度に実施した重症化予防、再発予防を目的としたモデル事業の取組みについても検討事項とした。 ・脳卒中地域連携パス運用実績 176 件（うち武蔵野市分 32 件） 	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
認知症総合支援事業【制度改正による充実分】	在宅医療介護連携支援室と協働した医療介護連携の取組推進【継続】	平成 29 年度中	<基幹型>在宅医療介護連携支援室と連携・調整し、相談に対応 <在支・包括>医療介護連携に関する相談機能を強化	武蔵野市在宅医療介護連携支援室（平成 27 年 7 月に武蔵野市医師会内に開設）の活動実績（平成 29 年度実績） ・相談件数：222 件 相談内容：在宅療養調整 103 件、入院入所調整 12 件、退院支援 20 件、転院支援 20 件、MCS32 件、その他 35 件 相談元：ケアマネジャー 94 件、医療機関 48 件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター 29 件、通所系 3 件、訪問看護 8 件、施設系 7 件、訪問介護 2 件、その他 31 件 ・訪問件数：105 件 訪問先：医療機関 29 件、ケアマネジャー 13 件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター 26 件、通所系 5 件、訪問看護 4 件、有料老人ホーム 4 件、老人保健施設 6 件、他区市連携支援室 2 件、その他 16 件 ・地域包括支援センター等と連携・調整し、相談に対応。	
	認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）の配置による認知症連携の強化【継続】	平成 29 年度中	<基幹型> ・認知症コーディネーター会議を開催するとともに、課題の集約整理 ・在支・包括の後方支援 <在支・包括>認知症に関する相談支援や、地域支援のコーディネート等	・認知症コーディネーター会議 認知症コーディネーターによる会議を定期的に開催し、認知症に関する地域づくりや支援体制の整備について議論を行う。年 6 回実施 ・認知症相談 認知症に関する相談に応じて適切な医療・介護につなげる。 ・認知症サポーター養成講座及び介護予防講座資料の作成 既存の認知症サポーター養成講座資料を汎用性の高いものに作り替え、講座の内容や質の均一化を図った。 ・認知症サポーターステップアップ講座（連続開催） 意欲ある認知症サポーターが、地域で暮らす認知症の方とその家族を支えるために必要な具体的知識やスキルを習得し、自主的な地域支援活動に取り組むきっかけをつくる講座を開催。 ・地域認知症講座「ききたいことをきいてみよう！認知症」 コミュニティセンター単位で、認知症専門医から認知症に関する知識や対応方法を学ぶ講座を開催。 ・認知症連携部会 認知症高齢者を支援するための在宅医療・介護連携体制の構築・推進に向けた検討を行った。 ・認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見・早期対応	
	認知症ケアパス（『みんなであらう認知症～武蔵野市で安心して暮らすための情報』）の普及・啓発【継続】	平成 29 年度中	<基幹型> 普及啓発方法の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発を行う	平成 29 年 8 月改訂版発行（4,000 部）。 ・在宅介護・地域包括支援センターや高齢者支援課窓口等で配布。 ・市のホームページからもダウンロードできるようにしている。 ・認知症サポーター養成講座で配布	状況に合わせて更新していく予定。
	認知症サポーター養成講座の実施【継続】	平成 29 年度中	<基幹型>講師や会場担当者との連絡調整、講座の企画、運営（講師含む）、在支・包	講座開催数：71 回（内：定例実施 6 回） 延受講者数：2028 名 平成 29 年度は土曜や夜の開催、子育て支援団体（1 団体）に対しても実施。	認知症になっても安心して生活できる地域づくりを推進するために、一般市民や企業、各種団体等に対して

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
			括の後方支援 〈在支・包括〉講師や会場担当者との連絡調整、講座の企画、運営（講師含む）		実施していくほか、土曜・夜などの開催により受講機会の拡大を図っていく。
	認知症サポーターズ テップアップ講座の 実施（連続講座）【新規】	平成 29 年 度中	〈基幹型〉講師や施設への 依頼、会場担当者との連絡調整 〈在支・包括〉講座の企画、 運営	平成 29 年度は 4 回開催 第 1 回（講義） 44 名 第 2 回（DVD鑑賞とグループワーク） 65 名 第 3 回（施設見学） 10 名 第 4 回（施設見学の振り返り） 9 名	認知症の理解者から支援者としての活躍に向け、在宅介護・地域包括支援センターの認知症コーディネーターが企画、運営。年間を通じた連続講座として実施し、具体的な地域活動へとつなげる。
	地域認知症講座の実施【継続】	平成 29 年 度中	〈基幹型〉講師や会場担当者 との連絡調整、在支・包括の 後方支援 〈在支・包括〉講座の企画、運 営	平成 29 年度は 5 回開催。 テーマ：「聞きたいことを聞いてみよう！認知症」 講師：繁田雅弘氏（東京慈恵会医科大学精神医学講座教授） 日時、場所、参加人数：※時間はすべて午後 2 時から 3 時 30 分まで 7月5日（水）桜堤コミュニティセンター19名、8月1日（火）けやきコミュニティセンター41名、12月5日（火）吉祥寺西コミュニティセンター18名、1月13日（土）境南コミュニティセンター53名、3月24日（土）吉祥北コミュニティセンター59名	認知症の普及啓発を図るため、在宅介護・地域包括支援センターの認知症コーディネーターが企画、運営。認知症専門医の協力を得て、地域性に基づいた講座開催場所を検討し実施していく。
	認知症相談の実施【継続】	平成 29 年 度中	〈基幹型〉相談会の開催 〈在支・包括〉相談会への同席	月 3 回、市役所または在宅介護・地域包括支援センターを会場にした認知症予防財団相談員による認知症相談を実施。相談件数：年 73 件	相談に応じて適切な医療・介護サービスにつなげていく。
	医師会と協働した認知症相談の実施【継続】	平成 29 年 度中	〈基幹型〉相談会の開催 〈在支・包括〉相談会への同席	・ 9 月の「認知症を知る月間」で、医師会の医師（もの忘れ相談医）と認知症予防財団相談員による休日相談会を実施した（相談件数：医師 20 件、認知症予防財団相談員 3 件。総相談件数 23 件、重複有）。 医師の相談には、認知症コーディネーターが同席し、相談内容に応じて介護サービスにつなげている。 ・ 3 月 4 日にももの忘れ相談医による休日相談会を実施した（予約制。相談件数：4 件）。	従来の認知症専門相談員による認知症相談の他に医師による認知症相談を実施することで、様々な相談の機会を提供していく。
	在宅医療・ 介護連携推進協議会 認知症連携部会の開 催【新規】	平成 29 年 度中	〈基幹型〉会議開催 〈在支・包括〉会議に参加	・ 医師会、認知症疾患医療センター等の医療関係者と、居宅介護支援事業者、認知症対応型通所介護事業者等介護事業所関係者、在宅介護・地域包括支援センター職員、行政職員など、計 22 名で構成。 ・ 認知症高齢者支援のための在宅医療・介護連携体制の構築・推進に関する事項のうち、主として以下の事項について検討することを目的とし、年度内に 3 回の部会を開催。 ○認知症初期集中支援チームやもの忘れ相談シートの活用等、在宅医療・介護連携に関する こと ○認知症高齢者の在宅生活支援のために必要なサービスや普及啓発に関する こと ・ 第 1 回部会：7 月 27 日開催 部会員 22 名出席 ・ 第 2 回部会：10 月 12 日開催 部会員 19 名出席 ・ 第 3 回部会：2 月 5 日開催 部会員 16 名出席	各部会員から出された検討課題を整理し、連携を深めていくための具体的な仕組みづくりについて、引き続き検討を進める。

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
	認知症アウトリーチチーム【継続】	平成 29 年度中	<基幹型> ・アウトリーチチームや関係機関との連携・調整 ・認知症アウトリーチ事業の評価 <在支・包括> アウトリーチチームや認知症コーディネーターリーダーと協働し、訪問や支援方針の検討を行う	相談実人数 154 人、うち訪問支援実人数 20 人、うちアウトリーチチーム対応 0 件 ※医療機関への連絡調整、受診手配、かかりつけ医の紹介などを行うことで対応したため、アウトリーチチーム該当ケースなし。	認知症アウトリーチチームと役割分担し、重層的な支援体制で医療や介護とつなぎ、適時適切な連携を図っていく。
指定介護予防支援	介護保険における予防給付等の対象となる要支援者への介護予防サービス計画の作成及び関係機関との連絡調整【継続】	平成 29 年度においても継続実施	<基幹型>指定介護予防支援事業所として、契約・サービス担当者会議への出席・給付管理業務を実施	ケアプラン作成件数について、資料 9 - 2 9 ページを参照	